

第5回 建設業女性技術者講演会 & 意見交換会 報告書



開催日：令和6年11月18日（月）
会 場：葵タワー24階「コスモス」

報告書目次

第1章	概要・・・・・・・・・・・・・・・・	2
第2章	アンケート集計・・・・・・・・・・	4
第3章	意見交換会意見集・・・・・・・・・・	6
第4章	当日の様子・・・・・・・・・・	16

静岡市建設局土木部 技術政策課

第1章 概要

1. 目的

建設産業の担い手確保の一環として、建設産業で働くすべての女性が「働きがい」と「働きやすさ」の両立により、就業継続を実現することを目的に、誰もが「働きつづけられるための環境整備」及び「選ばれる建設産業」を目指す。

①女性技術者の交流促進

意見交換を通じて、女性技術者同士の交流を深め、コミュニティを活性化する

②多様な働き方、考え方の共有

就業継続の不安をキャリアパス、ロールモデルの共有により払拭

③建設産業のイメージアップ

現場で使用できるノベルティグッズの配布により、建設産業における女性技術者の認知度向上

④建設産業の環境改善

意見交換を通じて、得た改善点を周知することにより男女問わず誰もが働きやすい業界となるようにする

静岡市における「建設業女性技術者講演会＆意見交換会」の開催は、今年度で5回目になります。当初より官民連携の企画として、これまでに約180人の方々にご参加いただいております。

第 1 回
(令和2年11月6日(金))

・グループで会食

・意見交換会

1. 女性に対する「特別視」と「配慮」の違いについて
2. 女性の体調への配慮について
3. おしゃれに対する認識について

第 2 回
(令和3年11月29日(月))

・講演会(ジェンダーバイアスを乗り越え、
一歩踏み出すために)

・意見交換会

1. 職場環境について

第 3 回
(令和4年11月29日(火))

・講演会(仕事に影響する「自己肯定感」を知る)

・意見交換会

1. 建設業を目指したきっかけ
2. 定着支援、担い手確保の取組み

第 4 回
(令和5年11月29日(水))

・講演会(他市の取組を知ろう！)

・講演会(心と身体を整えよう！:巡りヨガ体験)

・意見交換会

1. 「担い手確保」のイベントを企画、発表

第1章 概 要

2. 内 容

第5回目となる今回は、会の前半にこれまでのアンケートで希望の多かった「現場見学」を実施しました。重要文化財である静岡浅間神社、文化財保護事業として行われている「平成令和の大改修」について見学いただき、静岡市の地で、今しか観ることのできない伝統的な技術、またその技術継承の重要性を感じる機会にと企画したものです。

後半の意見交換会については、昨年度は業界への「入職」に係る担い手の議論でしたので、今回は「定着」に係る意見交換ができるよう以下のテーマで実施しました。

【開 催 日 時】 令和6年11月18日(月)13:00～16:50

【場 所】 葵タワー24階「コスモス」(グランディエールブケトーカイ)

【講演会内容】 ・文化財保護補助事業について
・静岡浅間神社の歴史と社殿

【現場見学内容】 静岡浅間神社拝殿保存修理見学会

【意見交換内容】 「私が建設産業で働き続けられるために改善が必要だと感じること」

《サブタイトル1》 建設現場の環境

《サブタイトル2》 働き方改革

《サブタイトル3》 ワークライフバランス、働きやすさ

《サブタイトル4》 職場環境

《サブタイトル5》 スキルアップできる環境

※5班に分かれ、班ごと1つのサブタイトルを決め(抽選)、意見交換

【ハルティグッズ】 さくらももこさんイラスト入り「野帳」

3. 参加者

35名 (民間企業 13名 官公庁 22名) うち、男性 7名



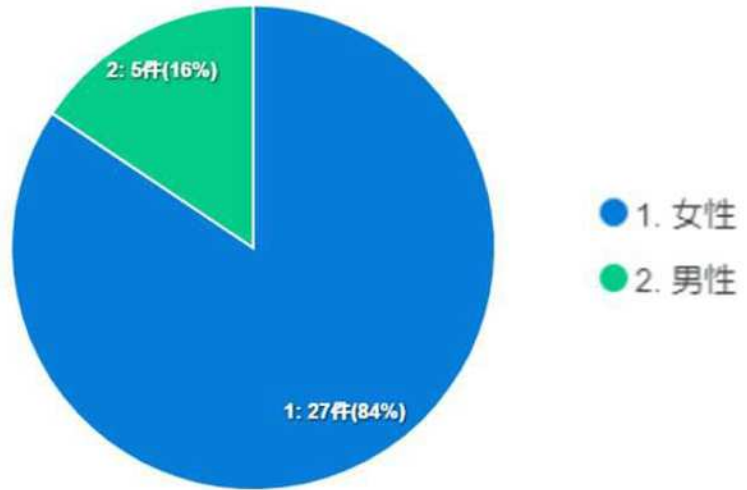
第2章 アンケート集計

※アンケートは、会の最終盤の意見交換会後にお願ひしました。
(よって意見交換会出席者32名が対象)

1. 今回の参加者情報

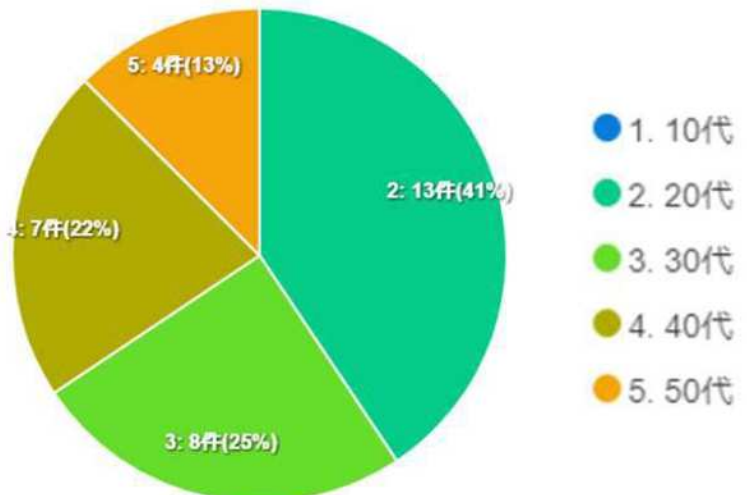
■ 参加者性別

	人数	割合
女性	27人	84%
男性	5人	16%



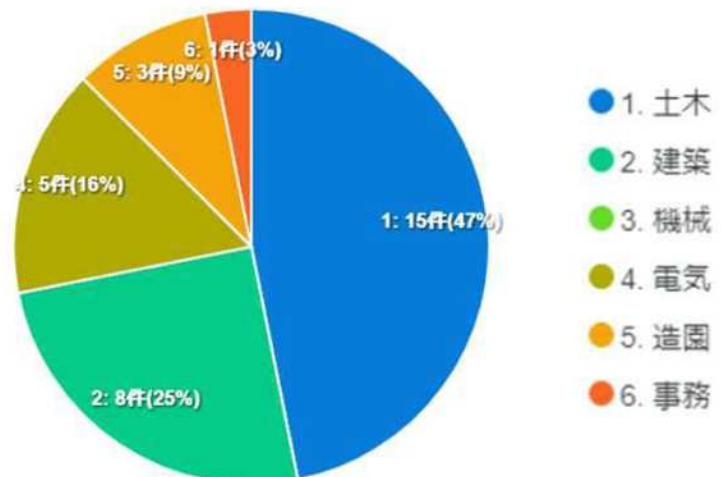
■ 参加者年代

	人数	割合
10代	0人	0%
20代	13人	41%
30代	8人	25%
40代	7人	22%
50代	4人	13%



■ 参加者職種

	人数	割合
土木	15人	47%
建築	8人	25%
機械	0人	0%
電気	5人	16%
造園	3人	9%
事務	1人	3%



第2章 アンケート集計

2. 今回の各企画は、「職場で活用できる」内容でしたか？

■ 講演会

	人数	割合
できない	3人	9%
ややできない	2人	6%
どちらともいえない	10人	31%
ややできる	10人	31%
できる	6人	19%
未参加	1人	3%



■ 現場見学会

	人数	割合
できない	2人	6%
ややできない	3人	9%
どちらともいえない	9人	28%
ややできる	13人	41%
できる	4人	13%
未参加	1人	3%



■ 意見交換会

	人数	割合
できない	0人	0%
ややできない	0人	0%
どちらともいえない	2人	6%
ややできる	15人	47%
できる	15人	47%



意見交換会での「私が建設産業で働き続けられるために改善が必要だと感じること」についての議論や技術者同士の交流は、概ね職場で活用できると感じていただけのものになりました。来年度も意見交換会は継続したいと考えています。

第3章 意見交換会意見集

1. 今回の意見交換の方法

【テーマ】「私が建設産業で働き続けられるために改善が必要だと感じること」

※1組6～7人の5班に分かれテーマに沿った意見交換を行いました。また、上記テーマの論点を絞るため、班ごと以下の内、1つのサブタイトルを抽選で決定。ファシリテーターとして配置したホストである静岡市の職員を中心に、それぞれの議論を進めていただきました。

≪サブタイトル1≫ 建設現場の環境

≪サブタイトル2≫ 働き方改革

≪サブタイトル3≫ ワークライフバランス、働きやすさ

≪サブタイトル4≫ 職場環境

≪サブタイトル5≫ スキルアップできる環境

【意見交換の流れ】

1. 「現状」と「目指す姿」を各個人で付箋に書き出す。【10分】

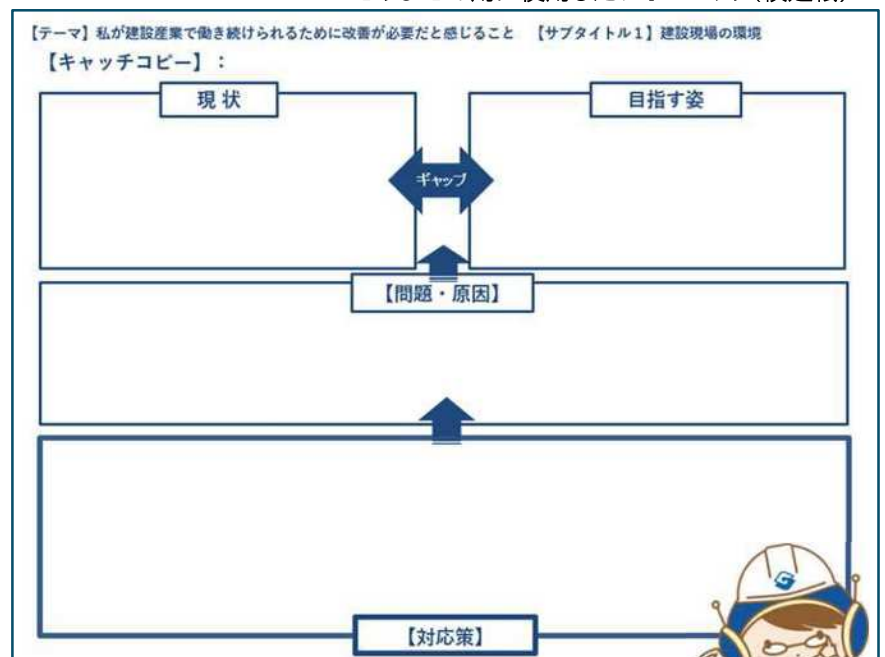
2. 書いた「現状」と「目指す姿」をそれぞれ発表し、班で共有。【15分】

3. 「現状」と「目指す姿」のギャップから「問題点・原因」を議論。【15分】

4. 「問題点・原因」が出そろったところで、「対応策」について検討する。
最後に各議論を一言でまとめた「キャッチコピー」を班ごと命名。【15分】

5. 各班3分程度で議論した結果を「発表」する。【15分】

とりまとめ用に使用したフォーマット(模造紙)



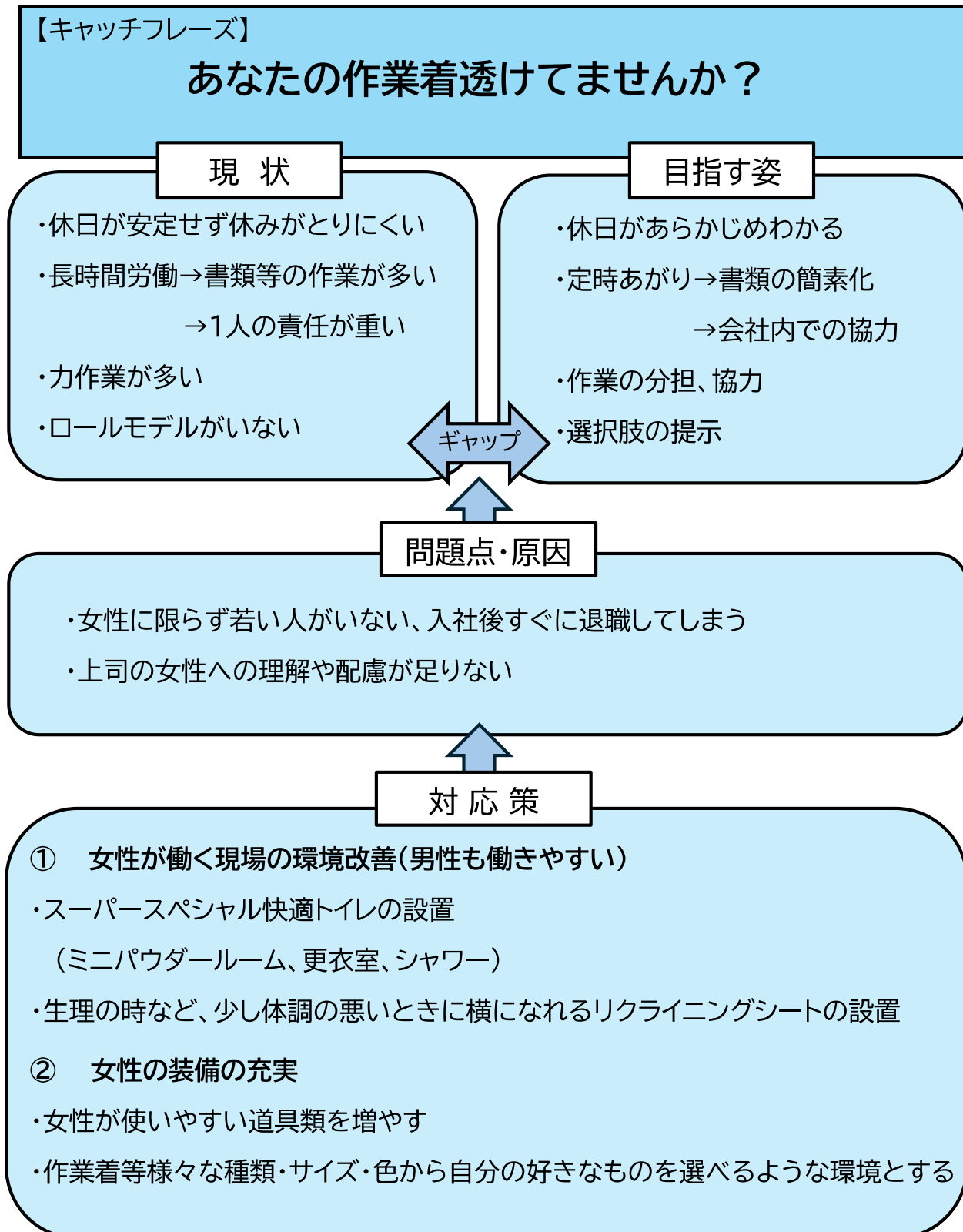
次頁より、議論しまとめていただいた5班の意見を紹介します。

第3章 意見交換会意見集

2. 各班の意見集

【テーマ】「私が建設産業で働き続けられるために改善が必要だと感じること」

《サブタイトル1》 建設現場の環境（C班）

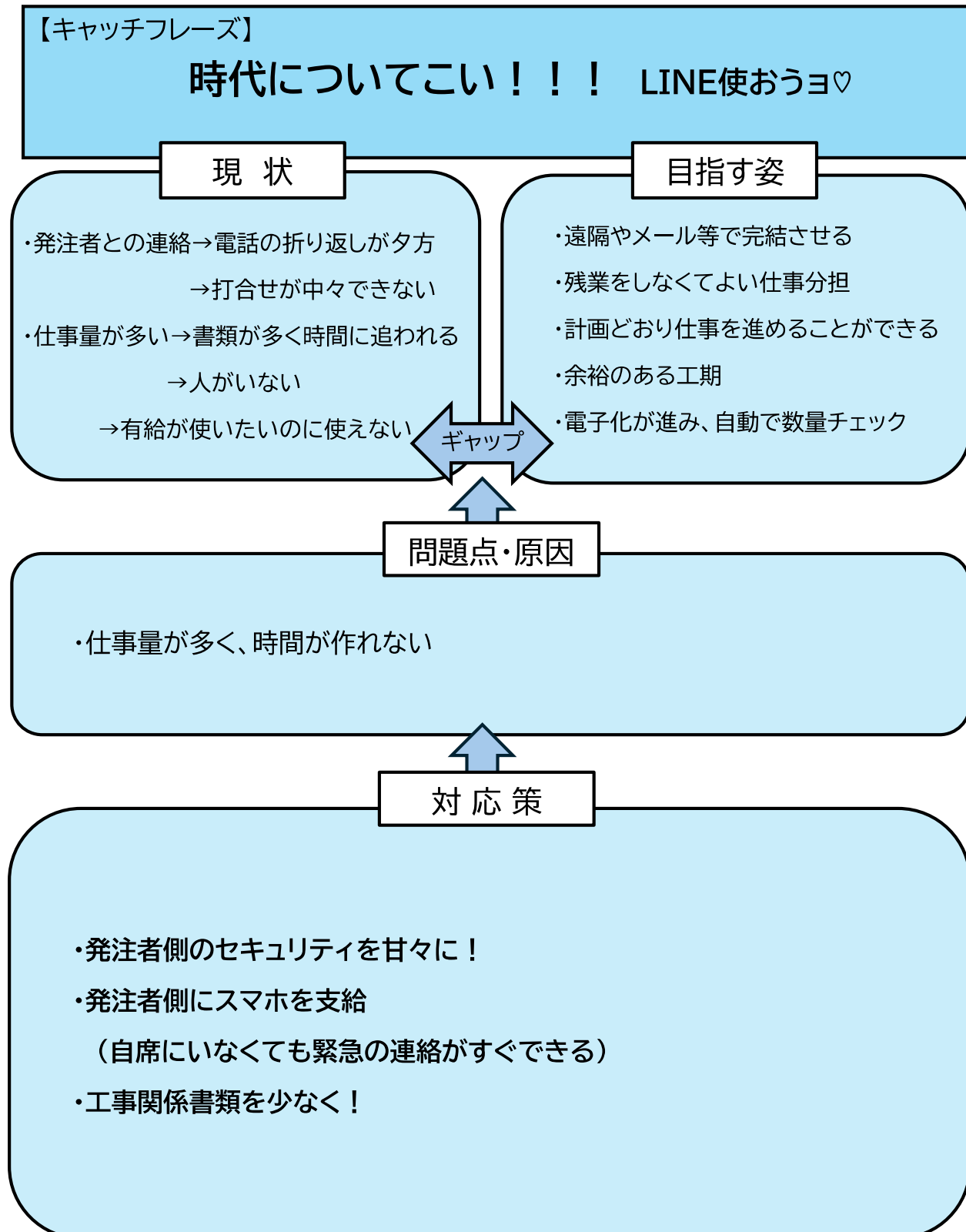


第3章 意見交換会意見集

2. 各班の意見集

【テーマ】「私が建設産業で働き続けられるために改善が必要だと感じること」

《サブタイトル2》 働き方改革（D班）



第3章 意見交換会意見集

2. 各班の意見集

【テーマ】「私が建設産業で働き続けられるために改善が必要だと感じること」

《サブタイトル3》 ワークライフバランス、働きやすさ（ A班 ）

【キャッチフレーズ】

業務の見える化があなたを救う！

現 状

- ・休暇がとれない→個人に業務がついている
→休みたいときに休めない
- ・家庭や近所→残業への家族の理解がない
→近所の人の職業への理解がない
- 休日出勤への家族の理解がない

目指す姿

- ・仕事のフォロー体制・環境
- ・性別での判断のない評価
- ・家事が分担という意識を職場ももつ
- ・仕事より休みを！という風潮への理解
- ・残業する・しないも自由な雰囲気

ギャップ

問題点・原因

- ・人手不足
- ・仕事に対する周りの理解
- ・偏った考え

対 応 策

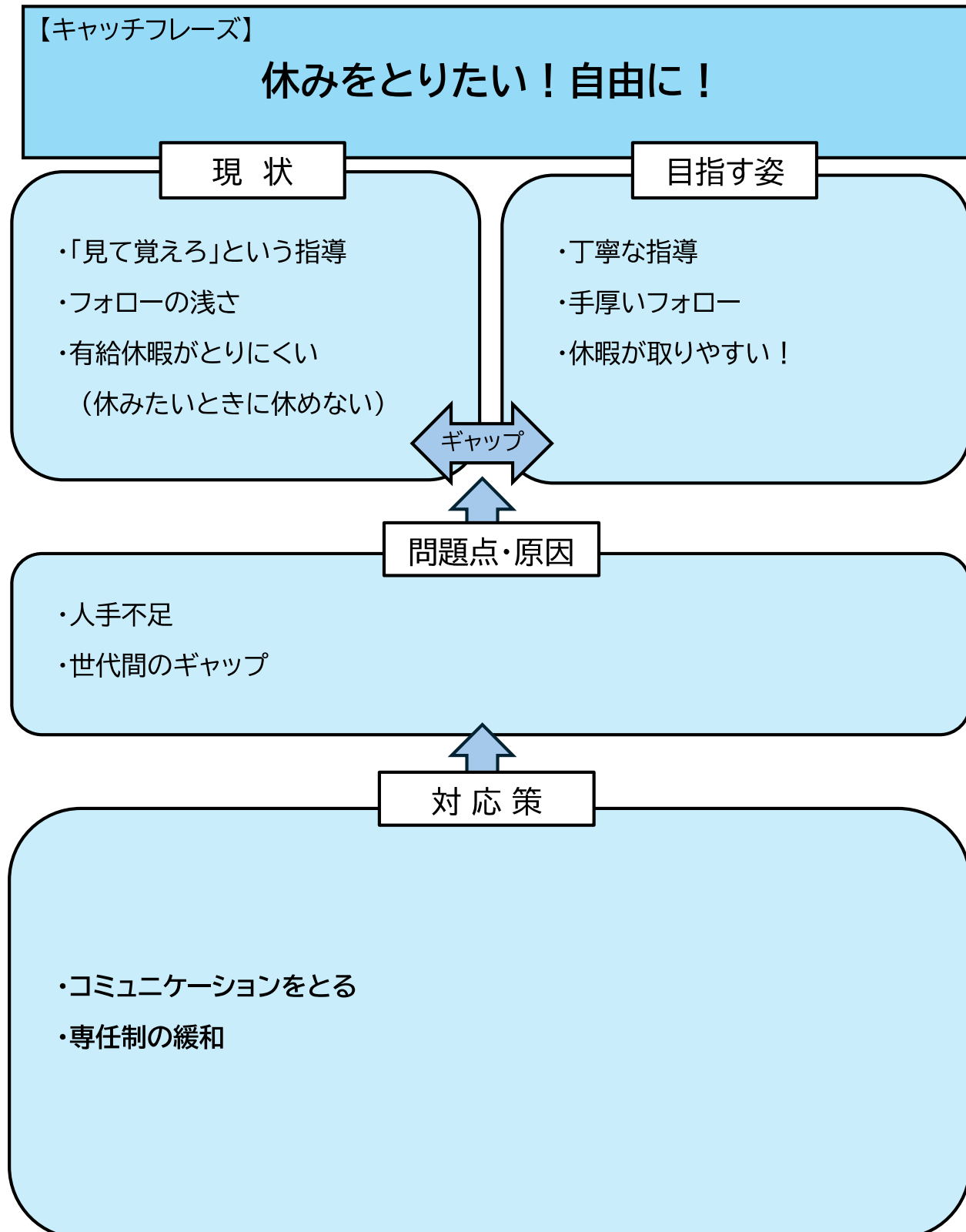
- ・周知活動(PR)→マイナビ、パンフレット
- ・家族の職場見学会、研修
- ・匿名のアンケートなどによる、意識の共有、見える化(職場の改善点)

第3章 意見交換会意見集

2. 各班の意見集

【テーマ】「私が建設産業で働き続けられるために改善が必要だと感じること」

《サブタイトル4》 職場環境（E班）



第3章 意見交換会意見集

2. 各班の意見集

【テーマ】「私が建設産業で働き続けられるために改善が必要だと感じること」

《サブタイトル5》 スキルアップできる環境(B班)

【キャッチフレーズ】

周りを巻き込んで発信しよう ～何かが変わるかも～

現 状

- ・スキルアップ＝資格取得になっている
- ・資格取得の勉強会や費用補助がない
- ・何を目標せばいいのかわからない
- ・経験できる現場がない

目指す姿

- ・スキルアップ＝なんでも総合的にできる
- ・技術継承のための勉強会(現場)の実施
- ・仕事してみたい部署へ希望どおり行ける
- ・スペシャリスト集団

ギャップ

問題点・原因

- ・資格取得は大変な割にいいことがない
- ・建築分野は制度が遅れている
- ・残業が多いため、勉強する時間もない
- ・完全週休2日の実現
- ・30代が少なく、ロールモデルがない

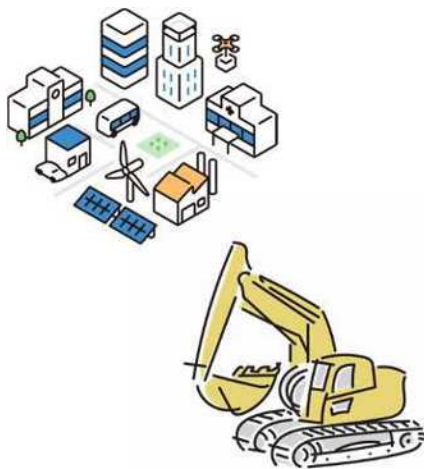
対 応 策

- ・昼休みでのコミュニケーション
- ・目的の明確化→自身の方針報告するシート
- ・社長面談
- ・思いを幹部に知ってもらう

第3章 意見交換会意見集

3. 意見のまとめ

【テーマ】「私が建設産業で働き続けられるために改善が必要だと感じること」



★上司、社員同士のコミュニケーションを密に

仕事の相互フォローの実施をしていく

社長との面談を実施し、社員一人一人の思いを知ってもらう

匿名アンケートの実施をし、意識の共有、見える化を行う

世代間ギャップ解消のため、双方向の対話を行っていく

↓ 行っていくと…

・職場の理解が得られやすい建設産業(意識改革)

性別だけでの判断ではなく、社員同士の理解・協力のもと仕事にあたることで満足度が変わる。

・自分に合った上司のマネジメントが受けられる建設産業

その人に合った指導方法が把握できるようになることで、指導する側は指導がしやすくなり、また、指導を受ける側の満足度も変わる。

・自分の意思が伝わりやすく仕事のしやすい建設産業

意思を伝えやすい環境を整備することで、周りは、その人に合った対応が可能になり、自分自身も周りから理解してもらえることにより、働き方を選択しやすくなる。

・誰もが働きやすい環境の整った建設産業(現場環境の改善)

現在の職場に何が足りないのかを把握しやすくなり、社員に寄り添った環境の整備が可能となる。

(今回の意見交換会で出た意見)

快適トイレの設置(ミニパウダールーム、更衣室、シャワー)

生理など少し体調の悪いときに横になれるリクライニングシート

様々な種類・サイズ・色から選択できる(作業服・道具)



★発注者の業務改善

工事書類を削減し、仕事量を減らす

送信可能な媒体等の制限廃止など書類の受け渡しの手間を軽減する

スマホの支給等で自席にいなくても連絡の取れる環境を整備する

～意見交換会：参加者の感想～

- ・異業種の技術者の生の意見が聞けて、少し考えが変わった。
- ・いろんな女性技術者と仕事に関する不満や問題を共有できて少し安心できた。
- ・女性技術者が少ないので、他の会社の女性の方々と話せてよかった。
- ・建設産業での問題点が多く分かり、自分の会社と比べ理解することが出来た。
- ・受発注者それぞれの環境を知れて有意義でした。

働きやすい環境が技術者を育てます

「悩みを未改善のままの建設産業」

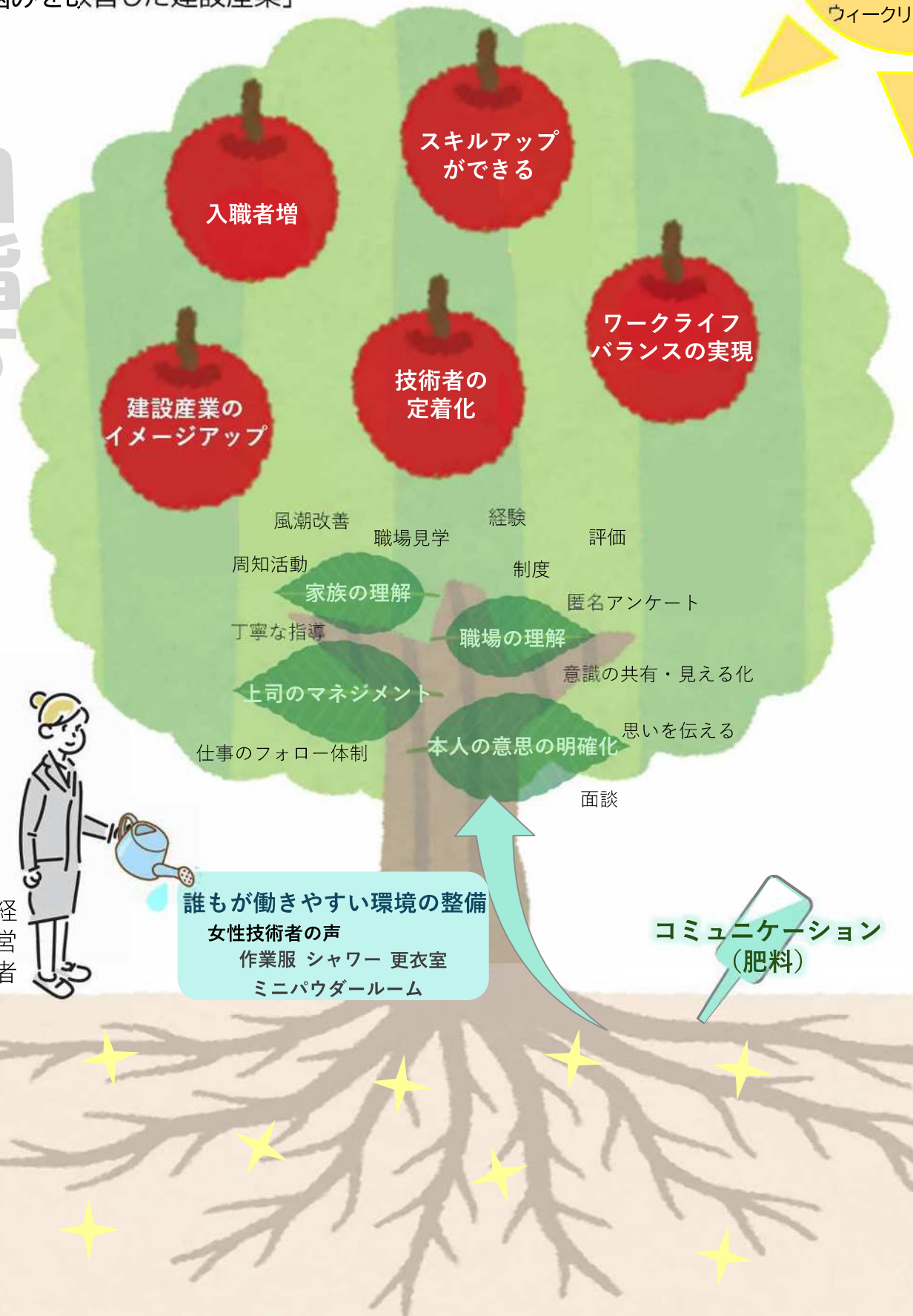
「悩みを改善した建設産業」

発注者の業務改善
書類削減
週休2日制
ウィークリースタンス

目指す
建設産業

取組み

課題



悩みの根

第4章 当日の様子



第4章 当日の様子

